

民主化闘争情報

No. 860
2012年5月21日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR北労組が苗穂工場支部で北鉄労から組織拡大を果たした。「平和共存否定」などという非常識な方針に固執する北鉄労とは今こそ訣別の時だ！

JR北労組が北鉄労から組織拡大！

JR北労組は5月21日、苗穂工場支部で北鉄労から23歳の青年の加入を勝ちとった。まさに、JR北労組の日頃からの地道な世話役活動の賜である。

JR北労組は、「北鉄労の皆さん！仕事、私生活での相談は誰にしていますか？職場で働く仲間同士の付き合いで、社員間の親睦をはかることは、業務をしっかりと行い、安全を確保するうえでも大切なことです。平和共存否定では安全も働きやすい職場環境も保たれません。JR北海道の民主化、働きやすく楽しい職場づくりをJR北労組に加入して共に取り組みましょう！」と訴えている。

着実に組織の強化・拡大を果たすJR貨物連合！

日本フレートライナーユニオン(FLユニオン)の誕生を契機として昨年5月に結成されたJR貨物連合が、着実に組織の強化・拡大を勝ちとっている。

4月1日に日本フレートライナー会社のフロント・積み卸し業務が地域ロジスティクス会社に移管されたことに伴い、FLユニオンが南関東ロジスティクス労組に名称変更するとともに、4月21日には32名の仲間が九州ロジスティクス労組(九ロジ労組)を結成し、JR連合に加盟した。

北九州国際会議場で開催された九ロジ労組結成大会で、来賓の山崎俊実JR貨物連合会長は「貨物鉄産労は2012春闘でベアの半分の原資をグループ会社の賃金引き上げに充てるべきとの要求をした。日貨労はこのことを無責任だと批判しているが、同じ働く仲間の痛みや苦しみ、生活の辛さを一緒になって分かち合い、一緒になって怒ることが労働組合の役割である。FL会社の破綻の原因は、会社経営陣とそれを看過してきたFL労組、そして何も指導してこなかった日貨労、JR総連の責任だ」と訴えた。

安心して働き続けることのできる職場をつくるためには労働組合が必要だ！

新委員長に就任した佐伯達也氏は、「これまで組合の経験も無く不安だが、みんなと協力してやっていくことが、現状を変えていく近道になると思う。これから組織を拡大しながら活発な活動を行っていききたい」と力強く決意を述べた。

最後に、「私たちは、私たちの意見・提案を有効に、かつ具体的に会社経営に反映させ、安心して働き続けることのできる職場をつくるため労働組合が必要であると判断し結成に至りました。私たちの労働組合は、組合員の声が常に反映される民主的な運営を基本とします。そして、経営側との話し合いを通じて、働き甲斐があり将来に希望が持てる会社・職場をつくるために努力をしていくものです」との結成趣意書を全体で確認し、成功裡に閉会した。

九ロジ労組は、結成以降3名の組織拡大を果たし、現在は35名となっている。JR貨物連合は、今後、組合未結成の地域ロジ会社において組織化を果たすべく奮闘中である。